



門 13
2218
巻 22

星月夜顯晦録五篇卷之二

目録

鎌倉所々合戦小物資政美盛と刺殺んと計

北条泰時乱箭を發し古郡保忠を惱む

大江廣元政所へ立歸らるる

○実朝の鶴岳八幡へ願書送納らる北条泰時謀畧

土屋大守権介美清鶴岡八幡の神籤に中凶

星月夜頭晦録五編卷之二

鎌倉所々合戦小物資政弐を刺殺んとす

斯く所方の軍勢小雨の止るに敵陣を眺ば丸小万字の旗が嵐

に翻翻りて軍勢更復見由井の溪も若宮大崎小叙奈と頃哉横

山が一堂更なる先陳とてりれば子紫利助成流由利中郎惟久

陳を急ぐ防んとは向もぢく両方絶合て半時半支残ればは

所の急も昨日より利終夜の軍小勢とれば如の猛く健きとも横山が

勇望しる形よの勢を防兼負急立てるるも時兼塵を振て先勢

を勵し短急急に探され成流怖ど引退く横山をめぐると下知く返

打後小由利中郎も忽破らるるも幕府小入んとは若宮大崎小拒

する小茶時房日泰時ホも成見く軍の勢を後陳へ送届竟の



星月夜頭晦録五編卷之二

二

射を致百人左右不備させ敵まはれ前に射を漂ふ処を致立んと
 正面は騎馬の玄八百を備て待無きと横山勢小急一度小嘯と喚
 て進如し泰時左右不備と知し散々に射させられ横山勢面を向きしれ
 びの忽射立られ颯と引とるやと泰時騎馬の玄を下知とるが八百
 今車馬を並進出し及び敵死四角八方へ進立れば横山の玄大
 敵を射し備完りしるる敵多るを射せし並野向小敵を以
 時兼大不忽汚き者大の取射られ引返して突入し我は後引と
 去蕞進し。常と母切てられは後勢は小急成り。急まわると
 火水よりれと探する。泰時が勢必死の敵に探され馬は成り兼
 右往左往し敵軍を泰時より成りしる。少も發せ中成りて味方の敵
 軍をさし左右の射もに命し進未敵を横失し射させり。にそ前

而もも然横山勢再び射させれ進兼猶与する処へ古勢物たる
 耐保忠横山勢の終不扣在し。これ成りて先陳ふ加し。敵の以たるた
 りねのとあらん。此りしてをらん。とま先に進む如成り泰時急透同
 ろく射立きする敵さしもの保忠が急進ると射するも保忠大音と
 罷。未探の老たらしと馬蕞出。ち刀を振る。西のどく飛来る多と
 左右へららりと切落し。我に後て進めくと勵し。る。右郎亦ども
 必死と成て虎背け曳く声ふる。押ゆる泰時が軍勢此勢に急と
 棄て射も矢種そられ。後敵難差にもある所に由利中八郎飛
 久嚮に横山勢に致多しと敵軍し。此のよ加る在り。が急進早乃
 精まらる。は。法軍の横合ふ出。清引作射物と。仇矢一ツも
 なく。古勢が即等立地ふ五六人射させれば残を大に碎易し。まら

山田五郎左衛門



四〇

水条泰時
 孔箭夜
 古郡
 古郡
 古郡
 古郡
 古郡



水条泰時

進兼て扱ひる也。保忠怒て何奴るれば我が勢を切らぬと惟
 久が射る矢と悉く捨てり馬上より射返りたる保忠もあつて
 弓術の速去るれば射返り矢に欲を五六發射落し保忠も亦
 故の矢を欲返射る。自業自得思ひ知やと云ふ。乱箭に射る小
 細きく小糸春時が燈の袖に中矢を剛泰時疵を交
 ぎ。事たせば死にり。防戎るが郎亦立寄る五人の袖にさるる矢
 扱を捨んとせしが流矢攻り姓名以て矢を能く射る由利
 中八郎惟久と云付あり。郎亦大に驚かぬ。惟久欲くは成合を味方
 派射るるものぞん。味方大に射付る。逆知やお違ひ。先此城
 株一味方の矢を除くと効るに。泰時思ふ源仁心のおどれを
 郎亦成割し。梁何ぞ今更まか育るれば保く化と疑惟久を射んと

て。味方同士射とさるとは。此後績にあり。此更さるる。此
 と。後よ吟味せざれば。軍終り。後流石思賞と云ふ。に及後時
 此更を傳ゆ。大に怒君小く。惟久と保とて。先篤
 吾を礼とく。この高命に依る。泰時。石出され。中守育る。泰時
 中ての。此更の究り。衆一が。惟久我陳に在て。防戎は古又
 分咽。く。く。梁多く。矢を發。欲。射。立。ひ。が。業。多。る。に。乱。軍。れ
 節。也。惟。久。が。射。た。る。以。前。を。欲。ま。射。返。せ。し。め。の。と。存。ん。梁。若。ま。あ。を
 射。ん。と。の。い。ふ。く。は。日。中。に。在。る。く。射。換。る。矢。の。い。ま。下。派。令。射
 妻。の。力。を。欲。既。に。亡。び。射。濫。の。其。衆。汗。を。垂。し。以。思。を。感。也
 め。忠。勤。が。う。め。あ。ん。と。仁。政。の。と。統。成。る。に。美。時。猶。も。疑。憎。請。ひ。又
 彼。之。能。欲。妻。を。ら。う。れ。ば。然。と。大。に。射。ま。る。も。測。り。と。し。り。

唯久は成りぬりし中、然れども、終小計、一會、成助、不、成、を、復、收、
運、拂、と、多、く、唯、久、先、身、と、泉、小、次、郎、が、合、と、組、し、神、文、と、出、し、
忽、變、公、に、利、阿、移、坊、安、志、を、子、孫、助、小、生、捕、で、任、柄、平、太、
淵、長、と、欺、金、窪、を、周、に、生、捕、す、る、に、備、人、も、變、公、及、復、を、憎、居、り、
小、今、夜、唯、久、身、命、を、劫、防、我、小、勞、し、ま、る、。恩、賞、ハ、初、重、返、放、せ、
られ、し、中、天、罰、と、傳、笑、り、去、程、古、郡、保、忠、勇、以、振、て、苦、戦、
し、横、山、も、力、を、併、攻、ま、り、れ、泰、時、が、元、未、勞、切、り、ま、る、へ、終、小、防、
兼、散、り、の、故、と、れ、れ、泰、時、も、力、及、び、之、所、斗、引、返、切、所、小、我、人、と、
再、備、以、居、居、り、我、小、土、屋、大、学、以、我、情、土、把、先、次、郎、左、門、村、世、平、
因、縁、与、一、九、門、耐、實、忠、梶、原、刑、部、重、朝、宗、ホ、茶、所、の、大、條、名、越、亦、
に、く、且、利、美、氏、亦、と、我、亦、利、成、終、れ、バ、野、方、へ、皆、口、と、引、

返、り、に、ど、和、田、茂、盛、熱、勢、引、率、し、次、お、に、ま、ま、り、る、に、は、
所、方、小、物、又、左、郎、資、政、と、云、り、の、有、法、西、の、住、人、も、力、量、武、具、
に、頼、頼、綱、々、在、世、の、時、高、麗、征、伐、の、小、命、せ、ま、り、者、之、當、時、
藤、倉、に、居、合、り、也、小、条、の、命、に、隨、ひ、向、り、屢、防、我、の、功、を、と、信、
り、が、今、日、も、亦、勢、法、く、味、方、攻、軍、居、る、を、以、て、思、ひ、な、り、
款、勇、猛、と、し、ど、も、小、勢、は、大、軍、と、放、る、我、盛、軍、配、能、壯、を、意、大、
お、以、て、是、は、涉、云、自、ら、放、ま、る、。我、一、人、款、陳、へ、入、入、志、意、の、茂、盛、を、
引、振、刺、殺、し、一、の、大、功、と、致、さ、ん、と、不、款、の、エ、支、及、我、場、を、此、軍、
の中、に、款、去、一、人、を、生、捕、ゆ、此、青、の、甲、冑、を、却、せ、自、ら、以、て、看、し、和、田、
が、兵、に、出、ま、る、一、の、捨、首、を、提、我、頼、に、泥、を、塗、給、り、唯、一、人、款、陳、へ、
入、入、る、て、は、且、六、九、二、引、の、獲、押、ま、る、茂、盛、が、備、へ、給、あ、つ、し、く、



かやんひろと
 大江廣元
 政所
 立帰る
 園



立帰る
 園

進むるに大なる美芝床に腰掛。多小采幣をえ左右の伏し人
 後旗本を直在。是常盛期盛美也。又右郎資政は御一たり
 と思ひよふ。其の首我討ちてゆへ。大羽の突検に備奉ると唱て
 通らんとする。我美芝眼を中。是又我必曲者。うん乳咽と。左
 市以下知。これ又さうおま。我をきり。首擲棄方。引技。走。て
 美盛に付てくる。四郎左衛門尉美走つ。立塞憎き。奴ら。と。そ。又。さ
 う。打ち力を授。附付。て。脱。給。に。引。組。た。も。又。さ。う。七。到。力。あ。れ。は。響。く
 操合。が。美。走。小。車。う。及。ぶ。き。控。め。組。伏。ら。是。勤。と。能。と。美。走。の。細。を
 向。小。る。ど。忽。首。我。討。落。し。事。り。お。又。法。は。我。堂。の。廣。元。の。時。君。我。寺
 儀。危。く。あ。る。の。如。所。の。致。火。催。落。る。者。あ。り。れ。ば。悪。煙。空。に。漏。果。く
 焼。廣。あ。る。が。建。連。一。大。廈。也。之。日。の。朝。も。猶。燃。た。も。時。小。廣。元。申。と

うれり。の。政。所。の。風。筋。列。美。有。き。く。は。は。は。の。美。芝。の。備。あ。れ。は。吹。伏。し。采
 氣。を。う。ひ。れ。と。幸。急。の。以。立。近。に。供。せ。り。お。は。大。乱。と。り。と。也。打。捨
 置。は。た。追。く。逃。降。の。正。勢。加。は。る。其。る。の。政。所。の。警。急。仕。へ。き。め。て。い
 り。ん。や。と。有。り。れ。ば。君。む。と。作。有。後。次。の。用。少。小。武。士。四。五。輩。派。ら。ま。き
 り。れ。ば。廣。元。を。ま。ま。より。政。所。に。来。り。ま。る。に。研。列。糸。が。と。り。た。以。所
 中。室。屋。の。熱。う。焼。亡。し。火。自。ら。結。り。ま。る。も。無。倉。中。街。小。路。後。羅
 剛。淨。の。場。び。に。廣。元。一。人。改。所。小。五。ん。と。あ。り。て。解。人。の。及。さ。り。た。也。
 廣。元。の。寛。仁。の。長。者。を。ま。ま。に。廿。決。を。常。也。引。致。百。万。の。中。不
 入。り。を。脱。る。致。終。と。す。是。聖。賢。の。大。十。八。丈。と。云。り。外。五。が
 後。仲。晏。子。の。功。を。其。さ。謂。と

実胡々鶴岡八幡へ願書以納らる小糸泰時係畧

諸君孔明歎して曰事と謀人のあり事と成り天にあり。是和田美玉
事、成り多成素して軍と争むる所以之横山土屋古郡土肥谷梶原
岡崎の山々多きより、その血戦に及んで、伊丹方の面も親を討れ、
計りて、もその成願ど、身成塵、小比一諸、小防、残入、鯨は力声、山ひと
以、研し、矢、叫、風、吼、起、し、天地、震、動、する、ごとく、冷、し、ま、ん、ど、云、斗、り、五、月、二、日
も、未、の、初、め、及、つ、と、と、も、猶、後、放、と、あ、る、に、飲、味、方、の、死、骸、ハ、巷、小、出、は、
肝、腦、塗、り、大、砲、に、紅、い、泉、を、流、し、堀、比、奈、古、屋、古、致、二、人、ト、合、味、方、と
離、れ、二、語、導、と、並、群、る、故、中、切、て、入、四、方、八、面、馬、武、者、先、卒、の、嫌、あ、
強、五、斬、拂、猛、虎、の、如、く、暴、ら、れ、ば、一、人、に、さ、防、難、ま、ぬ、勇、士、三、人
列、て、地、回、る、由、飲、む、志、なく、及、利、波、多、野、三、浦、武、田、小、笠、百、小、山
結、城、守、於、官、千、葉、佐、々、木、小、条、一、森、の、中、皆、悉、く、打、破、ら、れ、八、方、に

散、れ、し、完、き、備、一、つ、も、ぞ、り、カ、る、と、ま、り、れ、ば、あ、る、は、し、茶、に、茶、で、法、其
堂、を、用、む、べ、美、時、竟、も、遊、り、知、る、と、ん、と、私、法、堂、ま、り、り、る、と、ん、と、
小、条、泰、時、叔、父、小、条、時、房、と、十、合、終、る、と、い、付、死、し、る、將、と、究
郎、亦、小、代、八、郎、を、使、り、し、法、善、堂、に、き、併、り、り、を、滅、徒、の、勢、法、大
あ、り、し、り、水、氷、反、悉、く、故、軍、一、防、残、今、も、あ、り、し、叶、難、く、え、い、ま、ら
兩、人、覺、く、支、防、討、死、仕、り、ん、同、し、の、由、見、ぬ、と、さ、ら、う、れ、は、と、し、る、君、父
し、り、し、甚、難、く、あ、り、し、ぞ、我、時、ハ、猶、文、忠、で、言、う、も、出、り、此、ハ、公、林、の、加、後
に、あ、り、し、る、が、叶、が、う、く、い、り、ん、早、く、移、出、へ、祈、願、と、氣、ら、れ、死、傷、と、効、も、あ、
い、し、る、と、先、廣、を、政、政、研、う、と、急、よ、り、め、され、新、書、成、徳、を、則、廣、之、後
代、表、と、り、て、鶴、岡、へ、送、り、れ、君、遙、に、八、幡、宮、に、方、子、向、い、合、掌、礼、拜、す、
る、時、也、當、て、奇、瑞、有、り、と、そ、不、思、義、る、れ、美、秀、美、清、保、忠、の、二、人



つちまきくえのま
土屋大守権以
多清鶴岡
八幡の
神滴に中園



我先に之小条足利武田が備よ向て突入んとす。是時、後の方より
 一、多勢馬成進、素来る人、茂盛屹と顧着、欲を後、不問と
 差扱で攻んとす。と忽、傍と立、並し、初、処に在り、て富田之郎、為任
 と云る。到、勇の士、襟谷四郎と始、毛利、謙、山内、の、面、と、合、氏、盛、後、忠、と
 捐て、四所、に、弓を、彎、心中を、累し、幸、来、仁、忠、の、氣、情、を、附、せん、の、命、成
 物て、援助、せん、と、五百、餘、人、の、勢、を、く、純、加、り、如、く、茂、盛、方、よ、力、と、以、て、
 各、の、勇、志、成、附、し、勇、進、で、攻、討、り、味、方、の、士、卒、等、又、も、新、勇、の、加、り、
 一、に、言、成、り、大、軍、一、忽、ち、足、利、武、田、が、始、成、破、れ、富、田、山、内、小、の、新、勇、の、浦
 多、景、守、教、官、が、故、軍、の、偽、成、漸、進、す、り、如、く、攻、討、り、就、中、富、田、三、郎、を
 双、の、別、力、み、て、く、も、う、う、者、あ、ま、り、勢、附、に、大、勢、は、多、し、再、び、故、軍、小
 及、り、と、信、成、士、郎、左、衛、門、尉、羽、光、是、成、え、て、横、合、り、り、授、木、富、田、が、傷

を、感、ず、昨、日、々、の、軍、小、我、さ、せ、る、功、を、歌、う、ら、ん、和、田、が、信、義、に、引、さ、り、
 う、れ、と、も、悔、さ、り、ひ、る、れ、が、富、田、と、討、多、く、眉、目、に、傷、ん、と、一、文、の、よ、ま、を、か
 け、て、ち、か、と、む、う、打、て、懸、る、れ、如、く、う、と、渡、合、火、槍、成、散、り、我、も、如、く、双、方、是、乃
 力、士、る、れ、が、皆、射、敵、雄、も、さ、さ、り、延、信、成、が、郎、亦、弓、に、箭、を、番、切、て、發、す、へ、過、必
 富、田、が、腹、(射、透)、た、る、と、さ、れ、が、も、物、の、具、材、は、い、ま、負、た、る、近、く、て、亦、も、入、り、
 り、ら、も、さ、り、打、合、し、が、守、胸、も、射、込、た、る、矢、疵、疾、痛、也、た、か、ら、肋、打、て、え、ら、る
 と、後、城、の、う、ら、う、打、ち、力、に、お、さ、る、ち、力、成、打、落、さ、れ、指、海、と、技、ん、と、さ、る、如、く、
 馬、を、う、ま、り、引、組、り、り、如、く、操、合、拵、合、車、り、が、矢、疵、の、痛、退、く、矣、一、矢、子、馬
 上、に、捕、と、り、り、り、や、ち、も、富、田、や、る、六、法、勢、後、の、ま、り、も、成、信、成、士
 率、成、一、我、し、ゆ、れ、が、小、山、小、笠、原、の、面、と、進、来、て、山、内、才、の、形、を、散、
 に、打、敗、る、ゆ、へ、三、所、半、崩、り、を、揚、り、来、て、退、け、守、返、り、と、又、挑、戦、和、田、が

幼なる是れ天我事成就場なるの時節是形不及さる処之今又
誰れ怨心べん片時も早く死ね善道守泉下の君小中決せん
其邦の合戦をいざ知ら味方の故去返り死未古郡保忠朝比奈
我秀歌軍を打破進効土屋美清神箭に中て命を落せりと
中果方の諸軍方力殲落散れせむの武藏相模上野下野
常別の川原に數子の新手中所方に死未味方をえ巻戦ひ諸將
大半討死し或と死生死あつと告ぐるゆ我秀たてそ而ん天の然
らむ也諸將の軍主の悪死ふあつと歎息し止ざらるあつ神
箭の奉り我秀羽奈のぶ小糸春時が智斗の生き奇手の武蔵
拔群しして務べ死術を死にえ悟らる郎木小代八郎と法
再堂へを時密意を十合我時へ鶴岡川立願の事成効あつと告

させ復公の者の中に百發百中手練の射手を擯出し法再堂と懇
抱あつん必死とを察し何せと々果し土屋義清を射たりの
都合能く由人笑と馬場士卒の脱氣引立死軍の中をれ
く思ふを思ふ者多く一室に神箭と思ひは春時が保斗島小
中和田が微運と云ふ我秀亦三方別し我秀今を去るるの

星月夜頭晦録五編卷之二終

